

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第120号
発行2015.1.18
年4回発行社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
☎042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

夢と希望に満ちた生活を

[特集]

特定相談支援事業

障害福祉のサービスや制度が整ってきた昨今、
様々なサービスが利用可能になってきました。
今の生活のより一層の充実、将来の生活への希望、
未来予想図の実現のために、
点在する様々なサービスのどれを利用すればいいのか、
その計画立案を当事者やご家族と一緒にを行います。

明

けましておめでとうございます。本年も「機関誌そよかぜだより」をよろしく願い申し上げます。

今回のそよかぜだよりは、「指定特定相談支援事業」（以下、特定相談支援事業という）についてご紹介したいと思います。障害のある人たちの生活課題（ニーズ）に即した合理的かつ効果的な生活支援を目的に、平成17年度の障害者自立支援法の施行に伴い、「相談支援事業」が制度化されました。この相談支援には、①サービスを利用するしないに関わらず、障害のあるすべての人たちの相談に幅広く対応していく相談（基本相談）。②サービス等利用計画作成・モニタリング業務（計画相談）。③基本相談を通じて明らかになった地域の課題解決（資源開発、関係機関の連携強化、啓発等）への取り組み（自立支援協議会）などがあります。今回のテーマである特定相談支援事業は、②のサービス等利用計画

業務を行う事業です。国は、平成26年度末までに障害福祉サービスを利用するすべての人たちに「サービス等利用計画」の作成を求めており、羽村市も福生市との共同事業である「ハッピーウイング」や地域活動支援センター「あおば」を通してサービス等利用計画の作成業務に取り組んでいますが、まだまだ人手が足りない状況です。こうした地域の実情やサービス利用者支援を目的に、そよかぜでも、新年1月から特定相談支援事業を立ち上げることになりました。私たちは、この新規事業が、利用者と地域の福祉資源とを結ぶ拠点となることから、事業所名を「ゆい（=結）」と命名しました。「指定特定相談支援事業所ゆい」は、そよかぜが運営する福祉作業所ひばり園及び福祉作業所スマイル工房の利用者・利用希望者を対象として事業を実施します。

前置きが長くなりましたが、この特定相談支援事業の具体的な内容について、ご紹介いたします。

日々の暮らしの中で、 なんとなく考えたことはありませんか？

今の生活に問題はないけれど、将来のことがだんだん不安になることも、これからあるかもしれません。備えあれば憂いなしとはよく言ったもので、ゆっくりでも少しずつでも、考え、準備を進めて、不安を減らしていきましょう。相談支援専門員がお手伝いします。



Aさん
36歳 男性 羽村市在住
週5日、ひばり園に通っている
父(68)、母(65)と同居中
兄(38・結婚後独立・遠方)
妹(30・結婚後独立・羽村市内在住)

「ひばり園に通っていたい
家族と一緒に暮らしてたいよ」

「ひばり園に通ってほしい
自分たちが死んだら
お金の管理や手続きなど
どうしたらいいのか…」



「休みの日は友達と出かけたいな
ちょっと不安だけど
たまには一人で出かけたいな」

「ピアノの練習は嫌だけど、
みんなにきいてほしいな」

「将来のことはわからないよ
でもこないだ
お母さんが入院したとき
困ったなあ」

「将来の暮らしが心配
娘(妹)がみてくれると言うけれど…」

「週末、どこかへ連れて行くのが
大変なときも出てきた
自分たちが病気になったとき
どうしたらいいのか心配」

●現在のAさんの一週間の生活

	月～金	土	日
6:00	起床	起床	起床
8:00	ひばり園	友人や両親と外出	自宅の掃除 手伝い
10:00			散歩 買物など
12:00			
14:00			
16:00	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝
18:00			
20:00			
22:00			

●相談支援専門員と一緒に計画を立てると

利用者や家族の生活の意向	本人=ひばり園にずっと通いたい。将来のことはわからない(不安)。母 =ひばり園に通わせたい。将来は娘(妹)に見てもらおうようお願いしているが、娘(妹)の生活もあるため不安。
総合的な援助の方針	現在の不安事項について、一緒に考え、どのような選択肢があり、準備が必要かなどの情報提供を行う。
長期目標	ひばり園に通いながら、誰かと一緒に暮らしたい。
短期目標	ひばり園以外の支援者と一緒に過ごすことに慣れる。行きたいところに支援者と行く

優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 (種類・内容・頻度・時間)
①	ひばり園に通っていたい	ご本人の強みをいかし、やりがいのある日中活動を送る	1年	福祉作業所ひばり園 (就労継続支援B型)
②	休みの日に出かけたい	ガイドヘルパーを活用し、休日を充実させる。支援者にも慣れる	1年	ABCケアサービス (週一回4時間)
③	将来の暮らしをイメージする	ショートステイを利用し、誰かと暮らすイメージを持つ	1年	グループホームそよそよ (ショートステイ利用 月一回)

●計画立案後のAさんの一週間の生活

	月～金	土	日	週単位以外のサービス
6:00	起床	起床	起床	ショートステイ利用 まずは月に一回、平日に利用し、翌朝そのままひばり園に通所することで、将来の生活をゆっくりと想像できるようにする。
8:00	ひばり園	友人や両親と外出 or ガイドヘルパーと外出 (週一回4時間)	自宅の掃除 手伝い	
10:00			散歩 買物など	
12:00				
14:00				
16:00	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝	入浴 夕食 テレビ ↓ 就寝	ガイドヘルパー利用 親や友人と外出できないときでも、休日を充実させられるよう、週一回4時間利用し、行きたい場所や、やりたいことを伝えて、行動できるようにする。支援者に慣れることも目的に。
18:00				
20:00				
22:00				

「なんとなく不安」から「安心」へ ワンストップの相談窓口

AさんやAさんのお母様(ご家族)のように、今の暮らしに慣れていて問題は感じていないけれど、将来の事やいざとなった時に自分たちだけではなく一緒に考えてくれる人がいたらいいな、と思っている方は少なくないのではないのでしょうか。

ひばり園に通う利用者さんの中でも、普段は何も言わずに黙々と作業をし、問題も起こさずめったに休むことはないけれど、今一緒に暮らしている家族に何かあった時に瞬間に生活が成り立たなくなってしまう、という人もいます。自分の将来や老後を誰と一緒に考えていけばいいのか、普段黙って仕事をしている裏では不安に駆られていて、「将来」、「親亡きあと」という言葉に、アンテナが反応しているのがよくわかります。

一昔前よりも使えるサービスや制度が整ってきた一方で、それはどんなサービスでどうやって使えばいいのかわからないこともあります。そんな時に、みなさんのお話を聞かせて頂きながらどんなサービスや制度を活用できるのか、ご提案していくのが特定相談支援事業の主な役割です。漠然とある不安や心配なこと、なんとなく考えていることを聞かせて頂き、一人一人の生活やペースも大切にしていきます。ご本人にもご家族にも安心して生活が送れるよう、相談支援専門員がお話を伺います。

平成27年の新春を迎えて

社会福祉法人そよかぜ
理事長

野崎功市

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで輝かしい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。毎年、年が改まるたびに、その一年の平穏無事を願うわけですが、残念ながら昨年も異常気象や自然災害による大被害が多発してしまいました。昨年8月に起きた広島市北部の土石流災害、9月の御嶽山噴火災害そして四国地方の豪雪被害など、数多くの尊い人命が失われてしまいました。罹災により犠牲になられた方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。なお、昨年暮れには衆議院選挙があわただしく行われましたが、結果は自民公明連立政権の安定政権が保持されました。いずれにしても、日本は国内外にわたり多難な時代を迎えております。是非とも国民の願いを政策に反映し、希望に満ちた日本の未来に向けて頑張ってくださいと思います。

さて、昨年一年間の「そよかぜの事業経営」は、各業務にわたって特に大きな問題等はなく、概ね順調に推移することができました。これも行政当局をはじめ関係企業、市民皆様のご協力の賜であり心から感謝を申し上げます。なお「そよかぜ」として今後、取り組む幾つかの方針と課題について申し述べておきたいと思えます。まず、平成4年から「羽村市手をつなぐ親の会」により始められた「つくしの家」の宿泊訓練事業ですが、近年、地域の障害福祉サービス事業の整備・拡充が進み、サービス利用の選択肢が増えたことで、開所日数や利用延人数に大幅な減少がみられ、開所から22年余り続いた本事業も「当初の役割を終えた」との判断から、本年3月末をもって廃止いたします。さらに平成17年に開所したグループホームほほえみ館につきましても、市内および近隣地

域に同様施設が数多く新設されたことに伴い、小規模施設での事業継続が困難な状況となり、10年を経過した本年3月末をもって事業を廃止したいと考えています。両事業の運営につきまして、長年利用された方々をはじめ、世話人及び関係者皆様のご支援ご協力を心から感謝申し上げます。なお新規事業として「指定特定相談支援事業所ゆい」を創設いたします。この事業は、障害者の福祉サービス等利用計画を作成し、自立した生活のサービス利用を支援するものであり、障害者総合支援法に基づいて羽村市の指定を受けて実施しますが、開始時期は今年早々に予定しております。次にスマイル工房の今後の方向性についてですが、今後、精神障害者の増加に伴う生活支援や就労支援・相談支援など、包括的なニーズに対応するには、現施設が狭隘であることから、新

施設の建設に向け、昨年8月に羽村市に對しまして建設予定地の貸与について要望書を提出しております。これらの実現には、まだ日時を要するものと思いますが、将来的な展望に向け、取り組みたいと考えております。いづれにいたしましても、「そよかぜ」は、社会福祉法人として、公益的な使命感を持ち、地域福祉の重要な社会資源として、経営基盤の強化、サービスの質の向上、透明性の確保などに向け、積極的に取り組みます。本年も役員一同、心を新たに奮励努力してまいります。皆様の変わりなく、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



昨年11月に行った事業所交流会の中で、NHKで放送されている「100万人の花は咲く」を、希望者みんな大きな声で歌い、その様子を録画して投稿しました。いつ放送されるのか、心待ちにしています。

【そよかぜコラム】平成22年1月号より掲載

元日、 車椅子の息子を連れて ショッピングモールに出かけると

今年の元日のことです。日の出のイオンモールでお正月の企画でウルトラセブンが、希望者と握手してくれるという新聞の折込チラシがありました。帰省していた息子が喜ぶだろうと思って出かけてみました。息子は四十一歳になりますが、重度障害のために興味の対象は幼児と同じ程度です。子供のころテレビで覚えたウルトラマンがいまでも大好きです。

元日だから人も少ないだろうと思っていたら、予想は大はずれで大変な混雑でした。店内の会場にはすでに大勢の人が行列をしていました。先着五十名に整理券を渡して、整理券と引き換えにセブンがポーズをとって握手してくれるのだそうです。もちろん子供向けの企画ですから、並んでいるのは親に連れられた子供たちばかりです。セブンが出てくるまでにはまだ一時

事をします。「ウルトラマンを見に来たの？」と不思議そうに聞く子には「大人になってもウルトラマンが好きなのもいるんだよ」と答えてやります。

ほとんどの子供は、何も言わずじーと見ているだけです。普通、街の中で障害のある人に出会ったとき、珍しそうにのぞき込むのは失礼になりますから遠慮するものですが、子供にはそんな遠慮も気遣いもありません。いつのまにか私と息子の周りに子供の輪ができました。若い親たちは、親同士のおしゃべりに熱心で子供のことはほったらかしです。だからといって「あっちへ行きなさい」といって追い払うこともできません。

実に居心地の悪い時間を耐えて、ようやくウルトラセブンが出てきました。整理券が手に入らなかつた人たちや一般のお客さんが見守る中で、ふいに子供ではなく車椅子に乗った大人が出てきて、セブンと握手をしポーズをとってはしゃぐ姿は「えー、なにこれ」というみんなの視線を感じて、注目を集めるには十分過ぎるものがありました。このような催しの場でなくて

も、これに似た経験は長い間に何回もしてきましたので、私自身は慣れているつもりでした。たとえば息子を連れてレストランなどに入った場合によくあることです。楽しそうに笑いながら話していた人たちが、息子と私が隣の席に座ったとたんに、しーんと静まることなどは数え切れないほど経験してきました。しかし今回は特に強烈だったので、終わって人ごみから離れたときは本当にはっとしたものでした。

そのあと、空いているコーヒーショップの隅で二人で休憩していると、初老のご婦人が「失礼ですが、ちょっといいですか」といって近づいてきました。「このすぐ近くに日の出福祉園という障害者施設があるんですが、ご存知ですか」といいます。「ええ、よく知っています」と言うとお婦人は椅子に座って話しはじめました。

「先ほどウルトラマンのところでお二人を見たとき、私にはすぐ分かりました。二人は親子だろうと。このお子さんは施設に入っているのだろう、お正月だから家に帰ってきて、好きなウルトラマンを見せてあげようと思ってお父さんが連れて来られたんですよ。私の娘も日の出福祉園に入っているから分かるんです。でも私はこの歳だからもう家に連れて帰れないんです、さつき面会にいつてきたところですよ。その帰りにここに来たんです。お二人を見て、あーいいなあと思いました。だから私は決めました。明日、息子に頼んで娘をここに連れてきてやろうと。人にどんなに見られても気にしなくていいですよ。子供が喜ぶなら、それだけでいいんですよ。うちの子は、ウルトラマンのことは分からないけど、一日中施設の中にいるより、大勢のいるところへ来るだけで喜ぶはずだから。そのことを二人は教えてくれたのね」と言いながら、息子の手をとって「よかったね、よかったね」と言いました。見るとお婦人は両方の目に涙を浮かべていました。

子供たちの興味しんしんとした目、大勢の、なにーこれという目、そしてご婦人の目、社会の縮図を見せてくれた元日の一日でした。

(西岡英一)

強い意志

昨年末に西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱ですが疑いも含めて死者数が7,388人に達したと世界保健機関(WHO)より発表されました。決して対岸の火事とは言えない状況でもあります。現在のところ、治療法やワクチンがないことから多くの命が犠牲となったエボラ出血熱ですが、そんな病にも怯まず患者と向き合った医療従事者や感染からの生存者

たちがいます。どんな状況にあっても、困難に立ち向かい、乗り越えていこうとする人たち、そして他者を気づかうことや感謝の気持ちを忘れない人たちでもあります。エボラ出血熱のなか、「必ず回復する。決して希望は捨てない」と言って感染から生存したナイジェリアのデニス・アカーガ氏がいます。看護師で妊娠2ヶ月であった妻がエボラに感染し献身的な

コラム「福祉の時をつかむ」

看病の甲斐もなく命を落とし、彼もエボラに感染しました。彼は妻を失った悲しみとエボラを患った逆境のなか、生きることの強い意志を貫き続け病から生還しました。

新年を迎えエボラ出血熱と戦う人々に明るい光が差し込むことを祈りつつ、強い意志こそが何にもまして大事であると感じます。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

平成27年1月6日仕事始め。今年は全員で阿蘇神社へ初詣に行ってきました。冬休み中の運動不足解消も兼ね、30分かけて歩いていきました。お参りし、おみくじを引いて、ひばり園から持ってきた温かいお茶を飲んでほっと一息。帰りは少し遠回りをして河川敷を歩いて帰りました。この日は南風が吹いていたので温かい風が気持ち良く、2015年良いスタートを切ることが出来ました。

リサイクルショップくれよん

あけましておめでとうございます。昨年も

たくさんのご来店、ご提供ありがとうございました。お客さまのおかげで利用者さんたちもやりがいと誇りを持って仕事に励むことが出来ました。今年もどうぞよろしくお願いたします。新年が始まり順次冬物セール中です。スタッフ一同心よりお待ちしております。



福祉作業所スマイル工房

定番メニューのヘルシークッキー(ミックス)は、1月よりバレンタインデー、ホワイトデー用にハート型のミックスクッキーになっています。小さなハート、大きなハート、ギザギザハートなどいろいろなハート型をかわいいパッケージで販売しています。どうぞ、よろしくお願いたします。

障害者就労支援センター エール

「エール」は、羽村市より社会福祉法人そよかぜに委託された障害者就労支援事業です。羽村市在住の障害のある方を対象に、就職を希望している方や働いている方等からの相談を受け、支援を行っています。

利用時間：月曜日～金曜日、午前9時～午後5時。今年度の第一土曜日開所は、2/7、3/7です。※ご相談には予約をお願いします。

宿泊訓練施設つくしの家

将来の施設入所やグループホーム入居、地域での自立生活等への移行を円滑に行うことを目的としています。

グループホームほほえみ館

福祉作業所、一般就労、就職活動と、生活はバラバラですが、世話人さんのあたたかい応援もあって、休むことなく充実した日々を送っています。年末は、帰省する人もいる中、残った人たちが年越しそばを食べ、穏やかにすごしました。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがおすごでしたでしょうか。私は友人宅での忘年会やお墓参りなどと、毎年変わらずの年末年始をすごせたことに幸せを感じていました。そういう時間をすごしているのも、普通の生活があったること。どこに住む? どんな仕事をする? 誰と、どんなふう暮らす? 将来に向けては? などなど、生活を組み立てるのは不安も多く、容易なことではありません。誰かを頼り、助け合いながら生きていくのが、幸せな生活なのかなと思う、今日この頃です。

各事業所の連絡先

社会福祉法人そよかぜ事務局 ☎042-578-0855

福祉作業所ひばり園 ☎042-555-5512

福祉作業所スマイル工房 ☎042-578-2723

リサイクルショップくれよん ☎042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール ☎042-570-1233

羽村市心身障害者宿泊訓練施設つくしの家 ☎042-579-6849

グループホームほほえみ館 ☎042-578-2875